

令和4年度 伊勢原市児童発達支援センターおおきな樹 アンケート集計結果【保護者向け】

公表日：令和5年3月30日

事業所名：伊勢原市児童発達支援センターおおきな樹

保護者等数(児童数) 30名 回収数 19件 割合 63%

区分	質問事項	現状評価(実施状況・工夫点等)	評価結果				ご意見	保護者評価を踏まえた改善目標・内容
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	・園庭等を含めスペースは十分に確保されています。	18	1			・1階にある園ホールはいつ使用されているのか気になります。	・1階ホールは生活発表会や、全体で集まる行事等で活用し
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	・職員配置は規定人員よりも多く配置をしています。保育士、児童指導員、公認心理士など専門職員を配置しています。	16	2	1		・専門職(OT,ST等)ともっと関わってほしい。 ・先生方も体調不良でお休みしたりすると思うので大変そうに感じてしまい申し訳ないです。 ・配置は十分であるが先生方の専門性は低いと感じる。	・今後も専門職員の雇用に尽力します。
	3 生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境(※1)になっているか。また、特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切にされているか (※1 この部屋で何をすることをめざすように、机や本棚の配置など子ども本人にわかりやすくすることです)	・ホワイトボードに一日の流れを絵や文字など視覚支援を用いて支援しています。朝の身支度や排泄なども導線をわかりやすくし、室内を遊びと生活のスペースに分ける等工夫をしています。 ・建物古く、バリアフリー化や機能的な空間とは言えませんが、できる限りの工夫をしながら大きなけがに繋がらないように職員が常に配慮をしています。	17	2			・細かく構造化してほしい。 ・建物が古いので難しいと思うが階段が暗く感じる。トイレは明るくなった気がする。	・今後も利用児の状況に応じ、構造化したわかりやすい空間となるよう工夫します。
	4 清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	・1日2回の検温実施による体調管理と教室内遊具等を日々消毒を実施し、ウイルス感染拡大の防止を図った。	19				・感染症が流行っている時、2階のクラスはトイレもあつたり仕切りに限界があるので子供も行き来しやすく、先生方も抑えるのが大変そうなのが気になった。3月からマスクの使用がどうなるのか分からないが、マスクを長めに付けられる練習を引き続きやってほしい。	・職員のマスク着用については当面の社会情勢を見ながら判断する予定です。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画(※2)が作成されているか (※2児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは児童発達支援管理責任者が作成します。)	・定期的に児童発達支援管理責任者、クラス担当が保護者面談を行い、保護者の方のニーズを確認しています。希望に応じて面談回数を増やすことも行っています。	18	1			・面談をして園の様子を詳しく知れて有難い。子どもの困り感やこんな事を出来るようになって欲しいと伝えると取り入れて頂けた。先生方の気づいた点も提案して組み込んでくれている。面談が平日だけなので清水先生の面談同様土曜日でもやって頂ける日を設けてほしい。 ・個別支援計画の内容や面談の質がもう少し上がったほうが良いと感じる。	・保護者の方の状況に応じて土曜日の面談も検討していきます。職員の方のスキル向上に努め研修を重ねていきたいと思えます。
	6 個別支援計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	・児童発達支援管理責任者、クラス担当職員、相談支援専門員が会議に参加し、お子さんの発達を確認しながらステップを意識しながら計画を作成しています。	18	1			・こんなこと出来ました!など初めて出来たことや、頑張った取り組んでいました!など、先生方から気づいたところを連絡帳や送迎時、教えてくれるので嬉しかった。 ・集団としては十分な課題が計画されていると感じるが、その中で個々への支援の内容や質は十分とは言えないと感じる。	・集団活動内における個別支援の内容を保護者の方がイメージできるように細かくお伝えします。
	7 個別支援計画に沿った支援が行われているか	・個別支援計画をクラス担当職員が周知し、計画に沿った支援を行うよう努力しています。	16	3				・個別支援計画をクラス担当職員が全員意識して支援できるように工夫します。
	8 活動プログラム(※3)が固定しないよう工夫されているか (※3事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの発達の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。)	・年間を通して様々な経験ができるように月毎に活動プログラムを設定しています。また、状況に応じて適宜変更などの対応も行っています。	18	1			・昨年より課題が充実している気がする。難しいような課題でも、先生と一緒に出来る子もいるとモチコミで見ると置いてけぼり感がなくみんなで楽しめているのが分かってホッとする。	・お子さんの発達段階に沿った活動の様子がイメージできるように保護者の方にお伝えします。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、一緒に活動する機会があるか	・コロナ渦であったために実施していません。	1	11	7		・幼保の交流も気になるが、地域の方々や子どもが好きな小田急、消防車やパトカーなど見たり交流するチャンスや繋がりを増やして認知してもらえたらいいと思った。	・園外保育を通して様々な経験ができるように工夫します。
10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	・契約時の重要事項説明においてご説明をしています。また変更があった場合は文書にてお知らせしています。	17	2				・不明な点があれば、迅速に対応するように心がけます。	

令和4年度 伊勢原市児童発達支援センターおおきな樹 アンケート集計結果【保護者向け】

公表日：令和5年3月30日

事業所名：伊勢原市児童発達支援センターおおきな樹

保護者等数(児童数) 30名 回収数 19件 割合 63%

区分	質問事項	現状評価(実施状況・工夫点等)	評価結果				ご意見	保護者評価を踏まえた改善目標・内容
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
保護者への説明等	11	保護者に対して家庭支援プログラム(ペアレントトレーニング(※4)等)が行われているか (※4保護者が子どもの行動を観察して発達の特性を理解したり、特性を踏まえた褒め方を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。)	10	6	2	1	・個人面談時などに、先生から、子どもに対しての適切な声掛けの仕方や対応の仕方を教えて頂き、家庭で実践しています。 ・ペアと言えるほどではないが、活動時先生がついて手添えてくれるので安心している。面談時も家での困り感に対してこんなことしてみたらどうか?と教えて頂いたり、園だよりも子の活動はこういう目的でやっています、とヒントもあるので有難い。 ・家庭での状況や様子を細かく聞いてくれたり、フォローやアドバイスがほしい。	・ご家庭での困り感や関わり方のアドバイスなど、保護者の方のニーズを聞き取り、ご家庭で実践できるようにお伝えします。
	12	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、共通理解ができてきているか	18		1		・連絡帳等、日々の子どもの様子を先生と情報共有できるので、とても安心しています。 ・連絡帳に一言添えて頂いたり、家でも成長したところを伝えると一緒に喜んで頂ける。 ・職員の方とお話する機会が少ないので、今の子どもの好きなものや関心のあるものが分かっているのか不安。	・必要に応じて電話連絡や面談回数を増やすなど保護者の方の不安や困り感に寄り添えるように心掛けます。
	13	定期的に保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18	1				・定期面談の他にニーズに応じて面談を計画します。
	14	父母の会の活動の支援や保護者会等の開催等により、保護者同士の連携が支援されているか	10	6	1	2	・ZOOMは有難かった。ただコロナが減っている時は年長の親だけでも夏祭りや運動会を直接見られたら思い出になったのではないかと思った。	・コロナ感染拡大防止により行事等の参加はできませんでしたが、個別面談時に見学させていただくなど個別に対応しました。今後も状況に応じて臨機応変に対応できるように工夫します。
	15	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れがあった際に迅速かつ適切に対応しているか	17	1	1		・同じミスが起こったり、相談、申し入れを十分に対応してされると感じる事が出来なかった。	・職員間の情報伝達の不手際が重なりご迷惑をおかけしたましたが、個別面談時に見学させていただきました。今後は職員間の情報伝達を徹底し、保護者の方のニーズにお応えできるようになります。
	16	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	2			・子どもの小さなケガやお友達との関り等について、先生から細やかに連絡・報告をして頂いています。持ち物などのことについては、分からない事があったときにこちらから先生にお尋ねをして、教えて頂いています。	・タイムリーな情報伝達がなかったり、職員間の情報伝達の不手際が重なりご迷惑をおかけいたしました。今後は前もって情報を発信し、職員間の情報伝達の徹底し、保護者の方のニーズにお応えできるようになります。
	17	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を、子どもや保護者に対して発信されているか	17	1	1		・マチコミで様子が知れてよい。ホームページが出来てから写真も見れて更新が楽しくなっています。子どもたちに人気の給食レシピや絵本があれば園だよりで発信してほしい。 ・行事予定のお知らせが遅く、把握するのが直前になる。	・行事の連絡等が遅れ、ご迷惑をおかけしました。今後は年間行事予定を配信し、変更をお伝えするようにしています。
	18	個人情報の取扱いに十分注意されているか	18	1			・個人情報管理している箇所には鍵を設置するなどの対応をして、十分に注意しています。	・今後も個人情報の取り扱いには十分配慮します。
非常時の対応	19	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	17	1	1	1	・避難訓練を毎月子どもたちと先生方で行って頂いているので、いざという時に子どもたちが落ち着いて行動できる安心感があります。不審者等のご対応の仕方については分かりません。 ・コロナの発信同様、インフルエンザなどの感染症が流行している時、電話だけでなくマチコミで教えて欲しい。(病院で流行しているのか伝えられない。)	・個人情報の取り扱いに十分配慮しながら、感染状況などお伝えできる範囲で発信します。 ・災害時の対応など文面による共有を検討します。
	20	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか	19				・毎月末の引き渡し訓練や、課題でも避難訓練をして頂けるので良いと思います。	・避難訓練を様々な状況を想定し行います。

令和4年度 伊勢原市児童発達支援センターおおきな樹 アンケート集計結果【保護者向け】

公表日:令和5年3月30日

事業所名:伊勢原市児童発達支援センターおおきな樹

保護者等数(児童数) 30名 回収数 19件 割合 63%

区分	質問事項	現状評価(実施状況・工夫点等)	評価結果				ご意見	保護者評価を踏まえた改善目標・内容
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
満足度	21 子どもは通所を楽しみにしているか	・それぞれのお子さんの発達段階に応じて、楽しく参加できるように工夫を重ねています。またお子さんが安心して登園できるように職員は常に笑顔で迎え、一緒に泣いたり笑ったり、一日を楽しく過ごせるように心掛けています。	16	1	1	1	・久しぶりの登園の時は、ドキドキで行き渡るもありますが、行き始めると園での楽しかった出来事をいつも楽しそうに話してくれます。先生方にはいつも感謝です。 ・子どもがとても楽しみにしていて、身の回りのことも覚えて帰ってくるので、大変助かっている。 ・本人が毎日楽しみに通っていて、毎日楽しく過ごした様子で帰ってくるので、親としても嬉しいです。 ・友達と先生方のおかげと翌日の課題を教えると楽しみ!と言っているのでおおきな樹が大好きな様子です。	・お子さんが楽しく通えるように、課題設定や職員の声掛け、対応を常に研修し、支援技術の向上を目指します。
	22 事業所の支援に満足しているか		17	1	1	・子ども達をよく見ていただけて先生方には大変満足しています。	・おおきな樹を選んで良かったと言って頂けるように、日々職員一同研鑽し、より良い支援ができるよう努力を重ねて行きます。	
	自由記載欄					・言葉が全く出なかったあの頃が嘘のように、先生方の忍耐強い関わりの中で、こんなに話せるようになりました。 勿論、挨拶やトイレトレーニング等、課題は沢山ありますが、今の成長があるのは、大きな樹に通わせて頂く一日一日の積み重ねがあったからです。感謝の思いで一杯です。 親の私達も成長しないとなあと言った感じですが、今後も親子共々お世話になりますが、宜しくお願い申し上げます。		